

文教厚生常任委員会報告

問 阿蘇市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

答 婦人相談員、家庭児童相談員、生活保護就労支援員の選考基準等はあるのか。

問 特段、選考基準はありませんが、ある程度人生経験の豊富な方、40歳以上の方を公募しております。

問 阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病院使用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

問 処置医療に関する処置料を新設しているが、他の医療機関の動向は。

答 他の医療機関においては以前からありましたが、中央病院にはなかったので今回協議会で協議の上、新設するものであります。

平成23年度阿蘇市一般会計予算について

人権啓発課の所管分

問 男女共同参画推進費の中で、男女共同参画審議会委員とあるが、その委員の構成、活動内容は。

答 現在、男女共同参画審議員が13名で、例えば男女共同参画川柳の公募、カレンダーの作

成等の協議会、その他研修会を含め年間6回の委員の協議会を開催しています。

問 阿蘇市女性団体連絡協議会補助金について、その委員数と活動内容は。

答 女性の会、JAの女性部、商工会女性部、食生活改善推進員協議会、生活研究グループの5団体の女性団体連絡協議会として組織され、活動としましては、毎年男女共同参画に関する講演会等の取組や、廃油を利用した石鹸作りをして、市の行事、イベントにも率先して参加していただいております。

市民環境課の所管分

問 ごみ行政は、完全にサイクル化の方向に向かっていていると思うが、RDFであれば熱量を確保しなくてはならないという面からみて、今後RDFの施設をどうしていくのかという議論はなされているのか。また、ごみは資源であるという考え方を阿蘇市としてどうとらえていくのか。

答 RDF、未来館は平成14年から操業しており、耐用年数としてはおおよそ平成29年となっており、そこを見据えて協議を行っていないかなければならないと思っております。リサイクル、ごみの資源化を念頭に今後広域的に検討していかなくてはならないと思っております。

問 バイオマス実験事業費の詳細を説明してもらいたい。

答 事業的には、採草部門とガス化発電部門に分けており、ガス化発電部門に1,281万5千円、採草部門に644万5千円、事務費関係で25万円、緊急雇用創出基金事業補助金を利用しています。

問 この事業主体はどこになるのか。

答 この事業の一番の問題である採算性のアツ

問 プということを目標に、ガス化発電についてはプラントメーカー主体でやることを計画しています。

答 ごみ収集委託料について、随意契約の理由は。

問 収集場所の数が多すぎて、新たな業者では対応が難しいこと、現在の業者は旧町村の頃から嘱託職員として収集に携わっており、その生活権を維持する意味もあります。



未来館

高齢者支援課の所管分

問 上寿園は民営化の方針と聞いているが。

答 民間で出来ることは民間でというような現在の社会情勢の中で、民間でも十分対応できる基盤ができていくこと、施設の改修・建て替えを市がする場合には補助がなく、民間でする場合は補助があることなどから、検討委員会として、さる2月25日に市長に建議書として提出したところです。

答 高齢者のために家の中の段差解消、トイレ・浴槽の改修等、住宅改修のための補助金であります。所得要件により異なり

ますが、最高限度額が70万円となっています。

健康福祉課の所管分

問 放課後健全育成事業委託料について、22年度の学童保育の人数、個人負担を教えてほしい。

答 宮地小学校の泥んこクラブ66名、古城保育園のまどか学童クラブ17名、碧水小学校のへきすい元気っこクラブ38名、阿蘇西小学校のあいがも学童クラブ17名、内牧小学校の内牧スマイルキッズクラブ38名となっており、長期休暇中と平日とは異なりますが、大体4,500円から5,500円の個人負担となっています。

教育課の所管分

問 現在の社会情勢の中で、相談員の配置がこれでいいのか、もっと増員することを検討してほしい。

答 相談員の配置による相談、カウンセラーも一の宮中学校に配置して手立てをしています。が、学校に来なければ対応できないケースが増えており、新年度においては学校と家庭の中間スペース、別の場所に集まって勉強したりする適応教室をつくるということを検討しています。

問 碧水小と乙姫小の統合については、どうなるのか。

答 碧水小学校については、築30年近く経過しており、耐震診断の結果、耐震性はあるということで大規模改修をして25年4月の統合を目指すため今回設計費の予算を計上しています。

平成23年度阿蘇市介護保険事業特別会計予算について

問 緊急通報システムとはどういったものなのか。

答 このシステムは、民間企業のQネットに委託して独居老人が具合が悪くなった場合など、ボタン一つで掛かりつけの医療機関、民生委員さん等に連絡がいくことになっています。阿蘇市内で、約170世帯が利用されています。

問 阿蘇医療圏遠隔医療システム事業とは、どういったものか。

答 熊大病院と提携して、システムを利用し、例えば患者のCT画像を熊大の先生に診断を仰ぐといったシステムの構築をするものです。



乙姫小学校



碧水小学校